

「ご挨拶」

牧師 有賀文彦

(日本キリスト教会 近畿中会議長
大垣教会)



「神の愛を現す働き」

わたし自身はこれまで「愛の家」の活動に直接参加したことはありませんので、ここでは「愛の家ニュース」の一読者としてご挨拶させていただきたいと思います。

「愛の家」の活動が始められた当初、日本キリスト教会近畿中会の定期中会で、在日大韓基督教会の来賓の方があいさつされる際、毎年浪速教会と「愛の家」のことに触れておられました。そこでは、近畿中会の諸教会の協力に対する感謝の言葉が語られていたように記憶しています。しかしわたしとしては、自分たちのささやかな協力のことよりも、皆さまのお働きの尊さとすばらしさに感動する思いでいつも聞いておりました。

その後、中会レベルで、金鐘賢牧師と交流する機会も与えられるようになりました。特に最近では、韓国基督教長老会・済州老会と私たち近畿中会との交流にあたって毎年、金牧師に準備段階から当日の日程全体に至るまで全面的にご協力いただいています。大変なご労苦もありと思いますが、喜んで韓国の教会と日本の教会との懸け橋となってくださっている、そのご奉仕に感謝するばかりです。

今回このご挨拶を考える中で、以上のような近畿中会との交わりを思いめぐらすうちに、「愛の家」の働きの大きさと広さが改めて思われました。「愛の家ニュース」では、本当にさまざまな方がその働きにかかわり、さまざまな活動がなされている様子が紹介されています。そこには、人々の生活全体にかかわるご奉仕はもちろん、楽しそうに聖書を学び、共に神さまを賛美・礼拝する姿もあります。さらには韓国の方々の働きや交流のことも記されています。一人ひとりが主イエス・キリストにある尊い存在であることが全体に満ちあふれています。

そのような浪速教会・「愛の家」との交わりを与えられている恵みを改めて覚え、これからもまさに「神の愛を現す」その働きに少しでもあずかっていきたいと思えます。皆さまのお働きが、ますます神さまに祝福されますようにお祈りします。

①

「ご挨拶」

勸士 沈貞児

(KCCJ 西部地方会
シオン合唱団 団長)



「賛美の力」

主の御名を讃美いたします。
シオン合唱団は今年55周年を迎えました。月2回の練習を重ね、活動計画を立て、御言葉を必要とされている所で伝道活動をしています。

シオン合唱団が初めて浪速教会「愛の家」に讃美奉仕で訪れたのは、2011年3月31日木曜日、炊き出しがある日でした。礼拝堂はほぼ満席で、みなさん静かに座って礼拝が始まるのを待っておられました。ただ、その時は、讃美を楽しみにしていると言うより、食事が待ち遠しいという印象を受けました。それでも、讃美を始めて中盤で「ふるさと」を歌った時、会場の中で、目に涙を浮かべている方、下をじっと見つめている方、天を仰ぎながら、一緒に歌を口ずさんでおられる方が見受けられました。その時に歌の癒しの力を改めて感じました。

それ以来、毎年、復活節前の時期に「愛の家」で讃美をさせていただいています。この10年間で、ずいぶんみなさんと打ち解けたように思います。ポスターを作製して下さったり、玄関まで出迎えてくださり、私たちが来るのを心から楽しみにして下さる様子がよくわかります。会場のみなさんも明るい表情で一緒に歌ってくださるようになりました。讃美の後は、おいしいランチをふるまってくださいます。ランチの後のコーヒーがとても美味しく、私たちの方が癒されています。

讃美の他、献金や服、洗面用品等の献品奉仕もしていますが、残念ながら今年は、新型コロナウイルスのため讃美奉仕には行けませんでした。しかし、この状況下でも浪速教会「愛の家」の活動は止まることはありません。そこに集まる方々のために、日々祈り、惜しみなく手を差し伸べて、愛の労苦をされています。主イエス・キリストは、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。私が休ませてあげよう。」と言われた。「愛の家」は、希望の家です。教会の真のあるべき姿だと思います。

これからも、機会がある限り、讃美を共に分かち合う時間を過ごせることを切に願っています。



新型コロナウイルスによる影響

浪速教会「愛の家」を覚えて応援・ご支援して下さる皆様に新型コロナウイルスによる影響を受けていらっしゃることを覚えてお見舞い申し上げます。私共は創立以来23年間、年末年始やGW、祝日であろうとも木・金・日の伝道集会や炊き出しを休まず行ってきました。しかし今回の新型コロナウイルス（以下：コロナ）の影響を受け、それらを中止するか形態を変えるか、選択せざるをえませんでした。日曜日は主日礼拝に集中するために信徒礼拝だけを捧げています。礼拝の後でお握りを高架下で配ろうと幾度か試みましたが、礼拝後の恵みを覚える時間もないくらいとても慌ただしく、礼拝に集中できませんでした。ですから、現在は木・金曜日だけ炊き出しを行っています。一人でも多くの方に霊肉両方のお食事が届けられますように。

木曜・お弁当と御言葉メッセージ配り



2月までは、「教会内で礼拝を捧げて配膳」という通常通りのスタイルを何とか頑張って続けましたが、コロナの深刻化でスタッフ会議の結果、3月から教会近くの高架下（人の往来が少なく風通しが良い場所）でお弁当配りを開始しました。3密を避けるために、日々みんなで意見を出し合って、整理券を配る時間とお弁当配布の時間を決めています。

聖書の御言葉とショートメッセージを『デイリーブレッド』HPから引用させていただき、お弁当ひとつひとつに添えて配っています。またお味噌汁の代わりに缶のお茶やフードバンクからのパン、マスクなども一緒に渡しています。配布数に限定があると、我先にと皆が早朝から集まり（早い人は3～4時間まえから並ぶ）列をなして密を作ってしまう。その為に防御策として「来た人には必ずお渡しするので急いで来ないで、ゆっくり時間内にバラバラに来てください！」「マスクをしないとお弁当もらえないよー！」と伝えています。お弁当は日にちや、天気によって数が変動します。通常の伝道集会の時よりも今は20～40人程は増えていて120～160人が来ています。（P6. グラフ参照）



金曜・おにぎりとカップ麺配り・衣類提供会

金曜日の炊き出しは相変わらず西成公園にて行っています。しかしコロナ感染予防の為にお味噌汁の配布は休止しています。お味噌汁はお碗とお箸がプラスチック製で、教会へ持ち帰って洗浄しているので、スタッフへの感染のリスクがあります。またお味噌汁はその場で食べないといけません。そういう訳でお味噌汁の代わりにカップ麺を1人1つ配っています。「お湯はどうするの？」と思われるかもしれませんが、そこは西成です！カップ麺は安いし食べやすい（ほとんどの人は歯があまりありません）のでみんなが好んでよく食べます。だからお湯を設置している施設が何か所かあります。生活保護受給者は自宅にお湯もあります。金曜炊き出しも木曜弁当配りとほぼ同人数か少し少ないくらいの方が集まります。

衣類や日用品配りは、本来であれば一番暑くて着替えのいる夏に行いたかったのですが、全国的にも、大阪も、感染者数が多かったので見送りました。そして感染者数が落ち着いた10月16日金曜日に秋と冬ものを配りました。姜師母が知恵を絞り、整理券を配り、おにぎり配布を待つ間に5人ずつ交代で服や日用品2品ずつ選んで持っていき、という方法をとりました。後から来た人も競い合って見る必要がないので、ゆっくり見て選ぶことができました。最後の方は2つ以上選んで持ち帰ってもOKにしました。

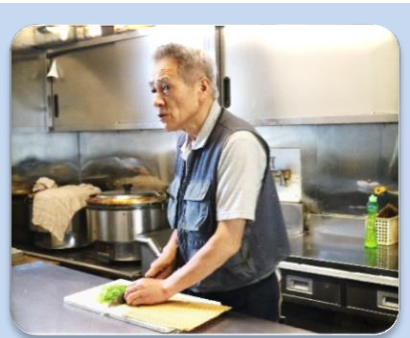


奉仕者の高齢化と次世代の奉仕者を募集する祈り

浪速教会「愛の家」の活動は1週間を通してほぼ毎日あります。毎朝届けられる袋詰めのアルミ缶や段ボールを整理し、それらが軽トラックいっぱいになったら換金しに行く。木曜・金曜炊き出しのための買い出しや下ごしらえ、教会の掃除、病人を訪問したりお世話をしたり、車で病院へ送迎、全国から集められる古着や日用品の仕分け、一人暮らしの方々の家の修理や暇つぶしのための談話。また集会のある日は150人前後のご飯炊きと食事の準備、交通誘導、整理券配り、食事の盛り付けに配膳、食器洗いや片づけ、運転奉仕、頂いた食品やパンの仕分け、等々。創立当初～数年前までは信徒のおじさん達が率先してそれらの作業を各自の担当として毎日空き時間に活動してくれていました。しかし彼らも今や70代、80代のおじいさんで、病院やデイサービスに通ったり、訪問介護を受けています。それでも奉仕に励む先輩達で、大変感謝！なのですが、しかし、このままでは後継者がおらず、今も活動が沢山あるのに担当者が手一杯な状態です。どうか後継者となれる若い世代の方方で神様の御業のために献身したいという人々があらわれますように、お祈りのご協力をよろしくお願い致します！！

教会創立23周年 記念礼拝

当教会の創立記念主日には毎年外部から賛美ゲストをお招きして賛美の恵みにあずかっていました。しかし、今年はコロナの拡散を懸念して内部だけ、つまり教会の家族だけで創立記念礼拝を捧げることになりました。例年とは違うけれども、それが本来のあるべき姿ではないかと気づかされました。浪速教会は自分たちに与えられた教会、礼拝と祈りの場、神の家族、福音伝道と弱者に寄り添う活動の場だ、と思いを新たにしました。そこで教会員を3チームに分けて賛美を捧げる事にし、子どもチーム「イエスが愛したように」、女性チーム「感謝します」、男性チーム「世の荒波、風だけり（数えてみよ主の恵み）」の賛美を捧げました。教会員が一体となり捧げた創立記念礼拝は、特別な神様との交わりの時間になりました。金牧師家族4人から出発した浪速教会が、23年という年月を守られ、今では多くの兄弟姉妹たちが教会に集っています。これからも浪速教会を守り導いてくださる神様に感謝！ハレルヤ！！



越冬夜回り・新屋回り

全国の皆様から深く関心を寄せていただいている越冬夜回り、「愛の家」では毎年11月～3月毎金曜の夜にお握りと温かいお味噌汁を配りながら安否確認や毛布等の配布を行って来ました。この冬は、野宿されている方々の住まいである医療センターが取り壊し工事の前後にあり、デモや闘争があります。またコロナ感染防止とスタッフ高齢化による人手不足等の理由によりこの冬の夜回りはお休みする事に決まりました。しかし、木・金のお弁当（又はおにぎり）配りでは100人以上の方々に配食し、もし余りが出た場合は昼か夕方方の明るい時に医療センター付近の野宿されている方々に配っています。夜回りならぬ「昼回り」になっています。ご理解頂ければ幸いです。



特集 奉仕者の声 & 「愛の家」の恩人④

『故 元浦末浩執事を偲んで』

金 鐘賢 牧師
(浪速教会 担任牧師)

浪速教会「愛の家」は野宿生活者への支援活動を23年間担って来ました。私達の炊き出しは今まで週3回、冬の間は夜回りも追加となり週4回行って来ました。私達の炊き出しは想像を超える程の人の手がかかります。計画準備・仕入れ・厨房での調理・配食・皿洗い・掃除など、その作業は簡単ではありません。それら作業のほとんどが浪速教会「愛の家」の信徒である兄弟姉妹が陰で担って来ました。23年もの間、炊き出しが守られたのは汗水流しながら奉仕して来た多くの奉仕者のお陰であることを覚え一人ひとりに感謝しております。



私達の信徒は野宿生活の経験があり、西成で貧しい生活をしている間に浪速教会の炊き出しや伝道集会を通して信仰に入り、信徒になった人が多いです。こういうルーツでたどり着いてきたからかなのかは分かりませんが、炊き出し作業にはみんな熱心に参加し協力しています。

多くの奉仕者の中で20年間強い奉仕の志と責任感を持って炊き出しを担ってきたのは元浦末浩兄弟でした。彼は私達の炊き出しの生きた歴史であり証人と言っても過言ではないと思います。

しかし、去る9月17日(木)午前8時、浪速教会の元浦末浩兄弟が、心不全で突然天に召されました。60歳の若さで生涯を終え

ました。私達の教会が北津守に移ってから彼は主に炊き出し・介護奉仕・厨房の管理を自ら献身して長年に渡って重役を担って来ました。

彼が天に召されてから彼が担ってきた奉仕を誰かが代わりにしなければならなかったので信徒みんなが協力して炊き出しを行っています。彼が当たり前に奉仕して来たご飯炊きを私の妻と一人の兄弟が工夫しながら行っております。彼のいない穴があまりにも大きくてこれからの対応に悩まされております。

特に晩年に力を入れていたのは寝たきりの兄弟への奉仕でした。本来なら施設に入るべき寝たきり状態の兄弟達や障害を迫っている兄弟達が自分の部屋で死ぬまで生きたいという願いを聞き入れ、何人かを受け入れました。彼は介護ヘルパーが来ない間にご飯を食べさせたり、オムツ替えをしてあげたり様々な奉仕を自らしてくれました。彼は亡くなる前日に私の妻にこう言ったそうです。



「私には夢があります。私の夢は弱い人に寄り添い、助けて共に生きることです。」

今振りかえてみると彼は自分が言った通り喜んで最後まで体の不自由な人や弱い人に寄り添い、弱い人の友として活動して奉仕者として人生の幕を閉じました。

私達浪速教会の家族は20年間共に過ごした元浦末浩兄弟が急にいなくなり、現実を受け入れるのに時間がかかっています。今でも信じられず、どこかで会えるのではないかと思うほどです。別れの言葉を告げる間もなく御国へ旅立った元浦兄弟。今天国にいる彼にこの紙面をかりて伝えたい言葉があります。「20年間お疲れ様でした。」

「主のみむねに抱かれ安らぎを受け、大いなる慰めを受けますように。主があなたを祝福し、この世での忠実なご奉仕に報いて下さいますように」手を合わせて心よりお祈りいたします。



路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い

御子イエスのお誕生を待ち望む季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。

この一年も主の導きにより、浪速教会「愛の家」は皆様からの多くの愛を受け、またその愛を分かち合う活動ができましたことを心より感謝申し上げます。このコロナ禍では、浪速教会「愛の家」の炊き出しも大きな影響を受けました。創立以来続けてきた木曜集会と金曜炊き出しは、密を避けるため、大きくプログラムを変更することになりました。そして、炊き出しに並ぶ人が目に見えて増えてきました。私たちのいるこの西成は、本当に日本社会の底辺に置かれている人々が暮らす街なのだ改めて実感しました。その中でも、私たちは、そういった人々と助け合い、手を取り合い、笑いながら共に生きていくことを目指しています。

また、だんだんと風の冷たさが身にしみてくるこの季節、路上生活を余儀なくされている西成の仲間を思うと胸が痛くなります。今年も皆が無事に冬を乗り越えていくことができますように、お祈りください。また一人でも多くの西成の仲間が、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心へと導かれますよう、お祈りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に2回行っております。金曜炊き出し（お握りとカップ麺）には毎回約150人～180人、木曜炊き出し（お弁当）にも常時120～160人近くの路上生活者が食事を求めて並べられます。炊き出しの実際の実費として、毎週57,000円を支出しております。（お米50kg・12,000円、副食費45,000円、合計57,000円）

このコロナ禍の中、支援者の皆様におかれましても様々なご苦労、痛みがあるかと存じますが、クリスマスは、小さな赤ちゃんとして私たちのもとへとおいでくださった主イエス様のお誕生を喜ぶ時であります。路上生活を強いられる方々に、御子イエスのお誕生の喜びと愛と希望を届けることができますように、クリスマス献金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「愛の家」事業：木曜・金曜食事提供、共同生活、福祉相談、生活用品収集分配
* コロナにより休止中の活動もあります（伝道集会・散髪・シャワー奉仕等）。

2020年度クリスマス献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、毛布、寝袋、靴、靴、カイロ、食材、お米を送って下さい。

郵便振替：00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

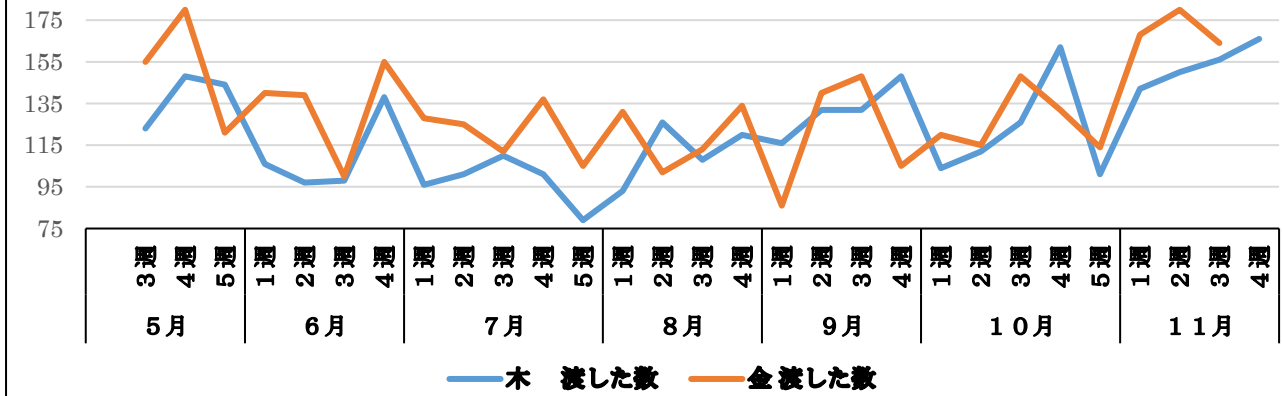
2020年12月



在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

金鐘賢 牧師

木・金曜日の炊き出し参加人数グラフ



献金者お名前(敬称略・順不同)

(2020年4月1日～2020年11月30日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会、在日大韓基督教会関西地方会、山住達樹、石井洋二、河内常男、寺岡孝、古川富也、新国久男、当重茜、朴栄子、呉蓮実、金景淑、吉村俊郎、金鐘賢、大木正典、金英姫、平野竜一・真希、匿名

一般後援金、イースター献金

大洲教会、重松貿易 株式会社、KCC 関西地方社会部、在日大韓基督教会全国教会女性連合会、野津道代、山本覚、金森俊徳、李順姫、森山富美子、金鐘賢、久保安子、東、大野、野村和子、小林勝、梁漢順、金デヒョン、佐藤信、姜貞淑、重松絢子、梅村るみ子、伊藤房子、森明子、萩原輝男、匿名

お米、お米献金

神戸布引教会 壮年会、純福音姫路教会、洲本チャペル、小林勝、宮澤麗子、伊藤博子、韓享春、小西恵美、当重茜、野津道代、松城邦彦、匿名

食材

洲本チャペル、東京希望キリスト教会、フードバンク大阪、フードバンク関西、ぐるり農園、清水真一・佐代子、匿名

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町の皆さん

衣類、靴、生活用品、ふとん、マスク、消毒液

グッド・サマリタン・チャーチ、女子ご受難会、松井明美、オペレーション・ブレッシング・ジャパン(南相馬サテライト)、パルム教会・匿名、金デヒョン、韓ユジン、吉見正敏、森明子、梅村るみ子、匿名

ありがとう
ごさいます



「愛の家」会計決算報告書(2020.4.1-11.30)

収入	20 予算	20.4-11
定期後援会	1,000,000	464,000
一般後援会	1,500,000	764,941
クリスマス献金	1,000,000	10,000
食事献金	300,000	0
総会支援金	300,000	0
地方会支援金	450,000	280,000
御米献金	100,000	44,000
小計	4,650,000	1,562,941
繰越金	956,971	1,856,077
合計	5,606,971	3,419,018

支出	20 予算	20.4-11
事務・備品・印刷費	350,000	366,521
交通費	100,000	0
車両維持費	150,000	141,424
奉仕者支援金	500,000	44,065
研修費	100,000	0
御米代	500,000	313,500
副食費	2,000,000	1,226,290
発送費	100,000	46,453
建築積立金	1,000,000	500,000
救済費	50,000	5,200
修理施設費・予備費	846,971	37,400
小計	5,606,971	2,680,853
繰越金	-	738,165
合計	5,606,971	3,419,018

発行責任者 金鐘賢
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392